

委 員 会 報 告

2012～2013年度

No.1

第 1 回

委員会名

IT合理化・事務局緊急対応

委員長名

L 向井 忠義

開催 日時	2012年 8月 31日 金曜日 15時 45分 ～ 17 時 15分					
開催 場所	キャビネット事務局会議室(小)					
出席 者	×	阿久津地区ガバナー	×	鈴木第1副地区ガバナー	×	塩月第2副地区ガバナー
	○	L 向井 忠義 委員長	○	L 赤尾嘉晃副委員長	○	L 木下知紀副委員長
	○	L 矢田部 満副委員長	○	L 原田純子副委員長	○	L 柴崎武士委員
	×	L 松本正一郎委員	○	L 若松範彦委員	○	L 笠原伸太郎委員
	○	L 大和祥郎委員	○	L 遠藤登委員	○	L 荘英隆委員(SPA)
		L 委員		L 委員		L 委員
		L 委員		L 委員		L 委員
		L 委員		L 委員		L 委員
		L 委員		L 委員		L 委員
	出席オブザーバー					
次 第	司会・進行 矢田部L					
	1	ガバナー挨拶（委員長挨拶）				
	2	前回議事録確認（初回なので諸略）				
	3	キャビネット報告(担当副幹事は欠席)				
	4	審 議 別紙議題による				
	5	日程確認・調整				
	6	次回開催確認				
議 題	審議経過事項の概要					
	1	330-A HP 刷新について				
	2	役割分担の確認 ①HP部門 ②出前講演会部門 ③取材報告部門				
	3	9月～11月の行事取材について				
	4	アクティビティ等、報告書のフォーマット				
	5	その他				
	6	広報委員会との合同委員会				
次回開催日時 場所	2012年 9月 20 日 木 曜日 15時 45分 ～ 17時 30分					
	330-A事務局 大会議室					
			作 成 者		L 赤尾 嘉晃	

議 題	審議経過事項の概要	
		向井委員長挨拶「HP刷新、出前IT講習、各アクティビティの取材など皆で力を合わせやり遂げましょう」
	2	役割分担について
		①HP部門:木下L:松本L、
		②IT普及出前講演部門:原田L:遠藤L、柴崎L(スクリーンプロジェクターの準備)、
		③取材報告部門:矢田部L、赤尾L、若松L、大和L
		④クラブHP立上部門:笠原L(Eクラブ国際本部HP・ブログ風のHPの立ち上げ支援)
		ガバナー公式訪問:出前講習会を開催。懇親会時、メンバー全員にHPの見方。
		荘L:G訪問時、スクリーンとプロジェクターの準備は幹事団へ事前に調整。各ZCPとの連絡を密に行い円滑な運営を目指しましょう。
	1	進行状況:木下L:2日一回は更新している。作業は簡単だが、手間暇が大変である。
		困っていることは、過去のデータが大きすぎて小回りが利かない状況。
		過去のアーカイブは、別サーバー、別ボックスにする方向性にしたいが、お金もかかる。
		未使用のファイルが数多くある。荘L:過去のデータ保護の方向性を話合う必要がある。
		木下L:バックアップをとり、今後整理していく。
	5	・緊急対策と事務局とITの打合わせは、9月19日13時～事務局。 赤尾Lが出席。
	3	・取材について
		昨年まで、HPに掲載する必要のあるアクティビティのみ取材していた。委員長:本年は、
		クラブ、キャビネット会議の取材はITが行う。 荘L:HPのコンテンツも作って写真も撮るのか。
		委員長:主な役割分担・事務局(幹事団)→キャビネット発信文章、広報一地区ニュース、IT→ACTV速報版HPへ掲載
	2・3	・ 出前担当確認 4日11R:若松L、5日3R:原田L、11日13R:遠藤L(立川/パレスH)、
		12日5R:柴崎L、13日7R:向井L(機材使用等確認)、14日6R:原田L、18日8R:赤尾L、
		19日9R:荘L、木下L、 26日10R:未定、27日1R:未定、28日2R:未定、
		10月2日4R:未定 、11日12R:矢田部L、若松L、15日14R:遠藤L ★全G訪問に委員長同行予定
	6	広報委員会との合同委員会
		柴田委員長:9月20日頃に地区NEWS発送 ガバナー所信、キャビネット情報、OSEALの告知等掲載
		向井委員長:ITはHPの作業員として関わる予定。。HPに掲載の優先順位の高いものを取材していく。
		木下L HPの分析:245名(キャビネット会議直後)土日は落ち込む。
		単発でアクセス、滞在時間3分程度。回数、滞在時間を増やすことを目指したい。
		サバンナ資料を配布した後アクセス数が増えてきたこともある。トップページに
		ニュースをアップした後、告知をする仕組みをつくっていきたい。
		新HP:迅速に記事を更新できるようにする。どこにどのような情報をいれるのかを
		協議を進めている。縦が2個(2カラム):情報が縦長になっている、3カラム(16:9)タイプ
		は、新しいPCには対応している。どちらの仕様にするか多くの意見を聞いていく。

	6	柴田委員長:HPの刷新の目的は、利便性を重視するのか？
		木下L:HP、オンラインが操作→誰でも操作できるへ。更新が速くできることを優先事項の一つとしている
		アクセス、滞在時間が多いことは、良く使ってもらっていると考えられる。
		ソーシャルメディアとのリンク貼る方向。
		向井委員長:多くのメンバーがHPへ訪問することを目的にしていきたい。
		柴田委員長:複数のメンバーが更新することができるのは、運用上の問題はないのか。
		権限を複数に与えると変更時の対応を整理の必要がある。
		向井委員長:広報、事務局、ITの3者で情報の整理、共同運営していく方向としたい。
		木下L:デザインについては若干時間をいただきたい。自クラブが掲載されるとアクセスが増えることを考慮、2カラムか。
		柴田委員長:ソーシャルネットは限られた人のメディアではないか。
		木下L:青年アカデミー委員会の活動や広がることを考えるとSNSは必要と思われる。
		現在トップページ、キャビネット、発信文章等で閲覧の70%を占めている。
		向井委員長:10月の奉仕デいの告知を早期に掲載するようにしていく。
		木下L:今後の展開について、ひな形を選んでデザインを決めている状況。
		広報副委員長:ISDN使用時には330-AHPの動作が重く大変という意見がある。
		木下L:スライドショーなどが多量になると重たくなる。改善策を練っている状態である。
		向井委員長:G公式訪問時、「HPを見てください！」キャンペーンをいたします。
		今後、個別案件での担当者レベルの協議を行っていく方向になった。
		両委員会のACTV等取材の割り振りについては、行われなかった。以上